

## 単元名 4 人間のきずな 言葉2 敬語

配当時間 1時間

単元の目標 (1) 敬語を使う生活場面を想定し、敬語の働きについて理解を深めることができる。  
 (3) 今までの学習を生かして、積極的に敬語の働きについて理解しようとする。

## 標準的な展開例

11210206\_001

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 敬語の働きや種類について理解し、適切な使い方を知る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 導入の例文を読み、相手に敬意を表す表現について意見を発表し合う。</li> <li>○ 本時の学習課題をつかむ。</li> <li>★敬語の働きや種類を知ろう。</li> <li>○ 教材文を読み、敬語の働きや種類について理解する。</li> <li>○ 丁寧語、美化語について知る。</li> <li>○ 敬語の組み合わせによる表現や、場面や状況に応じた敬語の使い方について考える。</li> <li>○ 学習を振り返り、敬語の意義や必要性について考えたことをノートにまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 普段気を付けていることや人から言われたことなどを思い起こさせる。</li> <li>・ 「敬語」について説明しておく。</li> <li>・ 丁寧語、尊敬語、謙譲語について、実際の会話の場面を想像させながら説明する。</li> <li>・ 教科書(p.119)を読み、説明する。謙譲語の中でも、敬意を表すべき動作や行為が向かう先を必要としないものがあり、これらには丁寧語を付けて聞き手への敬意を表す。そのため、謙譲語と区別して「丁寧語」とすることもある。美化語については、身の回りの言葉を例に示すとよい。</li> <li>・ 教科書の例文で、それぞれの敬語の種類と、誰に対する敬意なのかを確認する。</li> <li>・ 意義や必要性について考えることが困難な場合は、敬語を用いるときと用いないときの違いについてなど、別の課題を与えるとよい。</li> <li>【評】敬語の意義や必要性について考えたことを書く活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</li> </ul>

## 【 備 考 】

文学的な文章では、言動や心理の描写、情景の描写などに、作者のものの見方や感じ方などが表れている。また、説明的な文章では、論の中心的部分だけでなく、例示などがもつ効果が読み手を強く惹きつける場合も少なくない。この単元では、こうした多様な描写や例示のあり方に注目しながら、文章を読み深めることが目的となっている。また、描写や例示などは、書き手のものの見方や感じ方を具体的に伝え、読み手を楽しませる働きがある。

敬語の学習は、用語の暗記や分類ができるようになることが目的ではなく、社会生活の中で円滑なコミュニケーションを図るために適切に使用できることが求められる。そこで、学習の最初には敬語を使うべき場面はどこか、敬語を使うとどういう効果があるのかについて、実生活を振り返りながら考えさせ、今後の生活に生かすようにさせたい。

また、「盆土産」「字のない葉書」では、家族のつながりやきずなが題材となっている。これは、道徳のC-(14) 家族愛にあたり、自分と家族の関わりを見直すよい機会とさせたい。